

第6回 文書作成ソフト(4)

2026/06/10

1

事前準備

- PCを起動しましょう。
- 授業資料はUNIPAの情報リテラシ I にあります。
 - ✓ UNIPAにある以下のファイルをダウンロードしましょう。
 - レポートの印刷.docx
 - 数式のお手本.pdf
 - xxxx_6b.docx
 - xxxx_6c.docx

2

課題の講評

- 図表番号、キャプションについて
- ためしてみよう【6】の課題で不備がいくつかありました。
 - ✓ UNIPAのフィードバックでは返していません。
 - ✓ 減点対象ではありません。
- 図表番号を書く際には、必ず番号も入れましょう。
 - ✓ 悪い例：マーストリヒト条約の3つの柱
 - ✓ 良い例：図表3 マーストリヒト条約の3つの柱

3

タッチタイピングの練習

- タイピングの練習をしてみよう。
 - ✓ 初心者向け（ホームポジションを覚える）
 - プレイグラムタイピング ホームポジション
 - <https://typing.playgram.jp/training/1/4>
 - ✓ 中級者向け（速く・正確に打つ）
 - e-typing
 - <https://www.e-typing.ne.jp/>

4

今回やること

1. 文書の印刷
2. ページ番号と改ページ
3. 脚注の挿入
4. 文章校正/検索と置換
5. 数式ツールの紹介

5

1. 文書の印刷

2. ページ番号と改ページ
3. 脚注の挿入
4. 文章校正/検索と置換
5. 数式ツールの紹介

1. 文書の印刷

教科書p. W38

6

Wordでの印刷

印刷イメージ

- Wordの文書を印刷すると、作業画面と異なったものが印刷される場合がある。
- 印刷ミスを防ぐためにも、イメージを確認する。
 - ✓印刷の向きや余白、レイアウトを確認できる。
- ホームタブの印刷から確認可能。



7

印刷の設定

- 印刷のページでは、色々な設定ができる。
 - ✓プリンターの選択
 - ✓部数
 - ✓印刷するページ数
 - ✓印刷の方向
 - ✓印刷用紙のサイズ
 - ✓余白
 - ✓1枚に入れるページの数…
- ページ設定で、さらに細かい設定が可能。



8

演習1：印刷の実行

演習

- UNIPAの「レポートの印刷.docx」をダウンロードする。
- プリンターを「Microsoft Print to PDF」に変更。
- 1枚当たりのページ数を2に変更。
- 出力されたファイルを「xxxx(学籍番号)_6a.pdf」として、保存。

- PDFは、端末やOS(Windows、Mac、スマホ等)に依存せず、紙の書類のようにレイアウトなどを保てる電子文書。
- デジタル書類の共有等で共通的に使用されている。
- レポートを提出するときは、指示がなければPDFで提出。 9

- 文書の印刷
- ページ番号と改ページ
- 脚注の挿入
- 文章校正/検索と置換
- 数式ツールの紹介

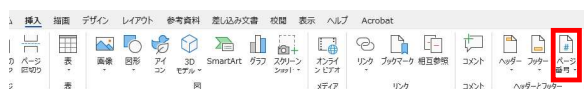
2. ページ番号と改ページ

教科書p. W48~W50

10

ページ番号の挿入

- Wordでは、すべてのページに連続したページ番号を挿入できる。
 - ✓番号は、ページの増減によって、自動的に振り直される。
- 挿入タブのページ番号を選択する。



11

ページ番号の位置・デザイン

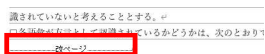
- ページ番号を選択すると、ページの位置(上部・下部・余白)を選択できる。
 - ✓上部ならヘッダーに配置
 - ✓下部ならフッターに配置
- さらに、番号のデザインも選択できる。



12

改ページの挿入

- 強制的にページを改めるには、改ページを挿入する。
 - 空白行を入れて次のページに移動することもできるが、レイアウトが崩れる場合があるので、意図的な場合は改ページを使う。
- 挿入タブのページ区切りを選択。
- 改ページをすると、設定によっては、「改ページ」という文字が勝手に入るが、印刷時には印刷されない。



13

演習2：ページ番号の挿入・改ページ

演習

- UNIPAの「xxx_6b.docx」をダウンロードする。
- xxxx部分を、自分の学籍番号に変更する。
- 教科書p. W49に従い、ページの下部に「シンプルな番号のみ2」のページ番号を挿入する。
- 教科書p. W50に従い、「<参考>調査票」の手前で改ページを行い、「<参考>調査票」が4ページの先頭になるようにする。

※Ctrl+Enterでも改ページができる。

14

1. 文書の印刷
2. ページ番号と改ページ
3. 脚注の挿入
4. 文章校正/検索と置換
5. 数式ツールの紹介

3. 脚注の挿入

教科書p. W55～W57

15

脚注とは

- 本文の下につける説明みたいなもの。
 - 参考文献
 - 本文の補足説明
- 説明したい本文に番号を付ける。
- そのページ下部に番号に対応した文章を書く。
- 脚注の付け方、そもそも付けるのかなどは、分野や人による。

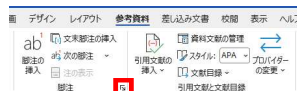
諸外国においても、さまざまな取組が行われている。本稿では、国外の代表的な取組として、National Q-12 Education partnership (以下「Q-12」)を紹介する³²⁾。Q-12は、アメリカの国立科学財団と科学技術政策局によって設立された、中高生向けの量子情報教育に関するプログラムである。この取組では、数学やコンピュータサイエンス、物理、化学と量子情報を組み合わせたカリキュラム案や実験キットの提供を行っている。提供している教材の1つとして、Quantum Circuits が存在する³³⁾。この教材では、日本における中学3年生～高校3年生を

³²⁾ <https://education.org/> (アクセス日 2025/02/03)
³³⁾ <https://education.org/project/quantum-circuits> (アクセス日 2025/01/16)

16

脚注の挿入

- 脚注を入れたい場所にカーソルを移動する。
- 参考資料タブの脚注グループの右下矢印をクリック。



- ダイアログボックスが表示されるので、必要な設定を選択し、挿入する。
- 挿入すると、ページ下部などに脚注の内容を書く部分が表示される。



17

演習3：脚注の挿入

演習

- xxx_6b.docxを開く。
- 教科書p. W55に従い、「なおす」と「たう」(2ページ6行目)の後ろに脚注を入れる。
 - その際、ページの後ろに脚注を入れるようにする。
 - 脚注は半角数字<<1, 2, 3, …>>を選択する。
- 脚注本文として、以下の内容を入れる。
 - 「なおす」
 - 「片づける」という意味
 - 「たう」
 - 「届く」という意味

18

1. 文書の印刷
2. ページ番号と改ページ
3. 脚注の挿入
4. 文章校正/検索と置換
5. 数式ツールの紹介

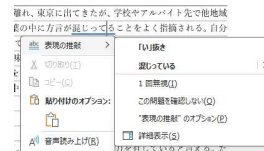
4. 文章校正/検索と置換

教科書p. W58~W62

19

自動文章校正

- 自動文章校正では、文法が誤っている可能性のある場所が、青色の二重線で表示される。
✓印刷では、線は出ない。
- さらに、指摘された場所を右クリックすると、修正候補が出現する。



20

表記ゆれチェック

- 同じ単語について、書き方が違うような表記ゆれチェックも行える。
✓例) 「ユーザー」と「ユーザ」、「ウイルス」と「ウィルス」など
- 校閲タブの表記ゆれチェックをクリックする。
- 修正箇所を一気に統一することができる。



21

校正機能の活用(参考)

- Wordの校正機能はかなり優秀で、日本語や英語のミスを高精度で発見する。
- 卒論や履歴書など、ミスできない文書を書く際には活用すべきである。
- ほかのソフトで作った文書も、Wordで開くことで校正機能を活用することができる。
✓無理やりWordで開くと見た目が崩れるため、**Word上での修正はお勧めしない。**
- ファイルを右クリック→プログラムから開く→Wordを選択。

22

演習4：文章校正の実践

演習

1. xxxx_6b.docxを開く。
2. 教科書p. W58~W60に従い、以下を行う。
 1. 「混じってる」について、右クリックを行い、「混じっている」に修正する。
 2. 校閲タブの表記ゆれチェックから、全角の「メディア」に統一する。

23

検索

- 検索を用いると、文書内から特定の文字を選択することができる。
✓Wordに限らず、ほかのソフトでも「Ctrl+F」で検索できる。
- ナビゲーションウィンドウの文書の検索部分に、検索したい文字などを入れる。
- 選択すると、対象となる文字が強調される。



24

置換

- 置換を用いると、文書内の特定の文字をほかの文字に変換することができる。
 - ✓例) 「ここは大学」→「常葉大学」
 - ✓Wordに限らず、ほかのソフトでも「Ctrl+H」で置換できる。
 - ✓検索する文字列に対象となる文字、置換後の文字列に変更後の文字を入れる。
 - 一括変換や、1つずつ変換などができる。



25

演習5：検索・置換

演習

- xxxx_6b.docxを開く。
- 教科書p.W60~W62に従い、以下を行う。
 - 「岡山弁」という単語を検索し、実際に強調される様子を確認する。
 - 「変換」という単語を「翻訳」にまとめて変換する。
 - 置換の、すべて置換を選択する。

26

- 文書の印刷
- ページ番号と改ページ
- 脚注の挿入
- 文章校正/検索と置換
- 数式ツールの紹介**

5. 数式ツールの紹介

教科書p.W69~W71

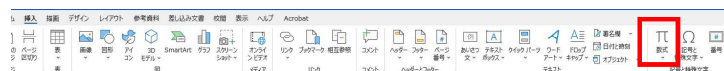
27

数式ツール(1)

- Wordなどで、以下のような数式を書きたい場合には、数式ツールを用いる。

$$2^a, \quad \frac{3}{4}, \quad \sum_{i=0}^9 (3a-1)$$

- キーボードが英字モードになっていることを確認する。
- 挿入タブの数式を選択する。



28

数式ツール(2)

- 数式タブが表示されるようになる。



- 数学の記号や、分数、大型演算子、関数などが表現できる。
- Wordで数式を書くと、Word自体が重くなる。
 - ✓数式メインで論文を書く際には、LaTeXなどの専用の文書作成ソフトを使うことが多い。

29

独立数式と文中数式

- 文章のない段落で数式を入れると、独立数式となる。

$$\sum_{i=0}^9 (3a-1)$$

- 文章のある段落で、文章中に数式を入れると、文中数式になる。
 - ✓文章の途中に $\sum_{i=0}^9 (3a-1)$ を入れる。

30

演習6：数式ツール

演習

1. UNIPAの「xxxx_6c.docx」をダウンロードする。
2. xxxx部分を、自分の学籍番号に変更する。
3. 教科書p.W69~W71に従い、(1)、(2)、(3)の空白部分に以下のような数式を挿入する。

$$x = \frac{a^2 \pm 4}{2ab} - 2b$$

$$\int \frac{1}{(2x+a)} dx$$

$$\frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

31

練習1：脚注の演習

演習

- xxxx_6b.docxについて、教科書p.W57のためしてみよう【9】を見て、脚注を7つ入れる。

32

練習2：数式ツールの実践

演習

1. UNIPAの「数式のお手本.pdf」をダウンロードする。
2. xxxx_6c.docxを開き、1のPDFに書かれている文章を再現する。

33

おわりに

- UNIPAの情報リテラシ I の第6回の課題として以下のファイルを提出してください。
 - ✓ 「xxxx(学籍番号)_6a.pdf」
 - ✓ 「xxxx(学籍番号)_6b.docx」
 - ✓ 「xxxx(学籍番号)_6c.docx」
- 期限は2026/6/16(火)16:00まで。
- PCをシャットダウンしましょう。

34